



第 30 回『大腸がん』にいただいた皆様からのご質問に
可能な限りお答えいただけますでしょうか？



ご質問にお答えいたします！

内視鏡以外の検査方法はあるか？

- ➡ 便潜血陽性・大腸癌を疑う症状があった場合の精密検査は基本、大腸内視鏡検査です。しかし、持病や年齢により大腸内視鏡検査をする事が負担となる場合は CT 検査などで対応しますが、大腸癌診断精度は下がります。

鎮痛剤を使用しての内視鏡検査は可能か？

- ➡ 持病や年齢により、鎮静剤使用リスクに差があります。
検査をする施設にご確認ください。

大腸内視鏡は安心のために何年毎に行うべきか

- ➡ 日本では、大腸ポリープを切除した人は 1-2 年に 1 回、全くポリープがなかった人（すべてポリープを切除した人）は 3-5 年に 1 回を目安にします。しかし、持病や年齢、家族歴などにより大腸癌リスク・検査リスクが異なります。検査をしてくれた医師に相談してください。

早期発見のために何の検査をどの位の間隔でやるべきか

- ➡ 大腸癌の早期発見のためには、大腸内視鏡検査をお勧めします。間隔に関しては、大腸病変の有無、持病や年齢、家族歴など、個人差がありますので、検査をしてくれた医師に相談してください。

大腸がんとポリープの違いは？

- ➡ 大腸がんは悪性腫瘍であり、正常な細胞が異常に増殖して周囲の組織に浸潤し、転移する可能性があります。一方、ポリープは大腸粘膜の一部が隆起した良性腫瘍で、多くの場合は無症状です。ただし、一部のポリープは時間とともに大腸がんに発展する可能性があります。

便検査（－）の場合、何%位安心していいか

便の検査で出血が無ければ 100%大丈夫か

- ➡ 便潜血検査が陰性の場合、大腸がんのリスクは低いと言えますが、100%安全とは言えません。検査の精度は約 70-80%程度とされています。つまり、陰性結果の場合、約 70-80%の確率で大腸がんがない可能性が高いと考えられます。



引き続きご質問に可能な限りお答えいただけますでしょうか？

ご質問にお答えいたします！



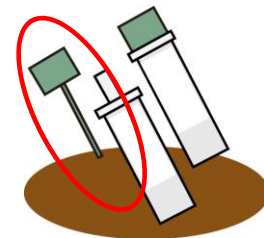
潜血検査のやり方、採り方を教えて欲しい

➡ 便の表面の異なる 2～3 箇所から少量ずつ採取するのが一般的です。

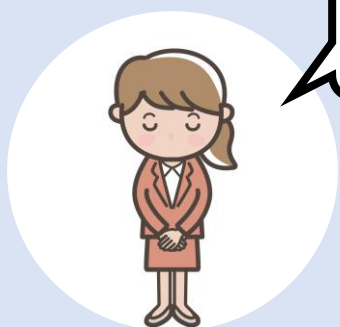
1. キットの採取棒で便を採り、専用の容器に入れます。

2. 容器を密閉し、指示された方法で保管または提出します。

注意点：検査の前には、肉類の摂取を控えるなど、医師の指示に従ってください。



採取棒で便を採り、専用の容器に入れます。



多くのご質問をいただき誠にありがとうございます。

今後もこの様な形式で行う予定です。

